

コミュニティFM放送局を考える

～ 小さいからこそ発揮できる放送局のちから ～

過去に、ニセコ町では防災無線、オフトーク通信など、行政と各家庭をつなぐ独自の情報伝達手段を所有していました。しかし、機器の老朽化などの理由により、平成20年を最後にこれらの伝達手段はなくなりました。

現在、町では緊急時にみなさんへ情報をお伝えする方法は広報車が中心で、その他にはインターネットメールを利用したシステムなどがあります。しかし現状では、多くの人に正確かつ即時性を持って情報を伝えることは、大変難しい状況になっています。

3月11日、東日本で大地震が起こり、大津波が太平洋沿岸を襲いました。たくさんの方が亡くなるとともに、いまだ多くの方が行方不明のままです。このとき、正確な情報が伝わっていれば助かった人もいたはずですが、緊急情報の有無が生死を分ける、と言っても過言ではありません。そこで、町では緊急時の情報提供手段としてコミュニティFM放送局の構築を進めていますが、コミュニティFMが持つ優れた力はそれだけではありません。今回のまちづくり町民講座では、どうしてコミュニティFM放送局を構築しなければならないのか、また、コミュニティFM放送局は、地域に何をもちたらずのかをみなさんといっしょに考えます。



とき 7月26日(火) 午後6時半から

ところ ニセコ町役場 2階 第2会議室

プログラム

18:30

情報提供

『コミュニティFMとは』

『ニセコ町が取り組むコミュニティFM放送局』

説明 ニセコ町役場 企画環境課長 茶谷久登 ほか

『設立するコミュニティFM放送局について』

説明 新放送局 局長 木原くみこ氏

19:20

意見交換

20:30

終了

申込不要です
気軽にお越しください！

主催 ニセコ町
お問合せ 企画環境課コミュニティFM推進係
担当 前原(不在時:茶谷)
電話 0136-44-2121